

道を拓く。 次代を担う。

No.03

今の西宮市政は、
市民全体の声が届きにくい構造です！
その理由はチラシ
中面をご覧ください



松本 たかゆき 西宮生まれ、西宮育ち 29歳 無所属 一児の父

広田幼稚園・甲東小・甲陵中・関学高・関学大(商)卒 元・積水ハウス(株)本社 勤務

司令塔と点取り屋と 相手エースを抑えるディフェンス職人

突然ですが、強いスポーツチームには色々なタイプの選手がいますよね。特にアメリカ生まれのスポーツは野球、アメフト、バスケ等、各選手が専門性を求められることが多いと言われたりします。

イギリス生まれのスポーツ(サッカー、ラグビー等)は、逆に万能さが求められると言われますね。これは余談なので、またブログで書こうかと思えます(笑)



例えば、司令塔ばかりのチームがあるとすると、きっとそのチームはうまく機能しないでしょう。近年は企業でも「多様性＝ダイバーシティ」という言葉が、定着するようになりました。組織を構成する上で、(言うまでもなく)バランスは大事です。

では、私たち一人一人の代弁者で構成された西宮市議会のバランスは今どうなっているのでしょうか？

ただ、バランスと言っても色々な要素があると思います。例を挙げると、思想(保守系or革新系)、所属政党、年代等ありますが、ここでは一番シンプルな要素の「年代」について触れたいと思います。

下表は現職の西宮市議会の年代別人数(2023年4月時点)です。

西宮市議会議員の年代別人数 ※2023年4月時点、西宮市議会HPより

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
議員数	0	7	8	8	13	5	41
割合	0%	17%	19%	19%	31%	12%	100%

偏りその①
20代は一人もいない!

偏りその②
60代は他年代よりも倍近い割合!

割合を大きく分けると、20~30代が17%、40~50代が38%、60~70代が43%となっており、上の年代にいくほど、割合が増えていきます。現状のメリットとして、人生経験豊富な人材の割合が多いという見方もあると思いますが、バランスの取れた状況とは言い難いでしょう。特に、①20代が一人もいない点と、②60代が他年代より倍近い割合である点が表立って偏っています。

バランスが悪いというのは、つまり市民全体の声反映されづらい状況と言えます。念のため断っておきますが、年代によって一括りに良い、悪いと言っている訳ではありません。

ここで言いたいことは、先行きの見えない時代だからこそ、できる限り様々な視点から(人材を揃えて)議論をしていくべきだということです。

なぜ西宮市政を志すのか?

「今のままでは西宮はほんまにヤバい!これからのことを考えられる人が今後市議会で働かないと手遅れになる!ほんまに変えていかんと!」

これはある日、僕が西宮市議会議員の方から聞いた言葉です。学生時代から経済が停滞しているこの国、そして、長年悪い財政状況が続いているこの西宮。そんな中で将来に不安を抱えていた僕は、その言葉に心を打たれ、「自身が西宮を変える潮流をつくるキッカケになろう」と決意しました。

とここで、「市のルール」と「お金の使い方」を話し合っ
て決めていくのが、市議会の役割です。

皆さんは1年、5年、10年と遡って思い起こした時に、行政によって生活がし易くなったという実感はありますか?

何も感じなければ、西宮市は現状維持が続いているとも言えるのではないのでしょうか。

ですが、今後経費が膨らむ(チラシ第一弾に記載)西宮市で現状維持は、衰退していく未来に繋がります。

今や、実感しにくいスピードで西宮は衰退しているのかもしれない。

一番身近で重要な地方政治 それを決めるのは3割の人でええんか

皆さんの声を形にしていく市議会。その議会を構成する議員を、今年4月に私たち市民が選びます。西宮市は、そこで41名の市議会議員を選出します。前回(2019年)の西宮市議会議員選挙の投票率は35%でした。投票率の話をする、こんなことを言う人もいます。

政治なんて誰がやっても一緒やろ

これまで一回も投票行ったことない、興味ない。



そう話の腰を折る前に、まずはこちらを見てください(笑)

[2019年 西宮市議会議員選挙の記録]

順番	得票数	所属政党(当時)	結果
40番	1934票	(日本共産党)	当選
41番	1810票	(日本共産党)	当選
42番	1801票	(無所属)	落選

前回の選挙では、当落の差は9票という結果でした。

この9票という差で(誰を選出するかによって)、あなたの生活にも未来にも影響します。チラシを読んでくれているあなたの声が届きやすい市政にするため、僕は西宮のリアルを伝えます。

それが、今の僕にできる精一杯の政治です。

子育て支援から好循環を 選ばれる街へ

ここ最近、住む街を検討していた友人が、「子育て支援が充実しているから」という理由で明石市に引っ越すということがありました。

近年は転出する人の方が多い傾向にある西宮市。(↑西宮市民の方でもこの事実を知らない方が結構います...)

つまり、西宮が「選ばれない街」になり始めている。それが今起きている現実です。

人口移動のボリュームゾーンは子育て世代です。その多くは「子供を保育施設に預けられるか」「子育て支援はどれくらいあるのか」という観点を持って、住む場所を探します。したがって、転出超過の流れを食い止めるために子育て支援は不可欠です。

子育て支援も様々ありますが、まずは「18歳以下の医療費完全無償化(所得制限無し)」を目指します。

時は去年の市長選に戻りますが、現市長が公約の一つに「18歳以下の医療費無償化」を掲げていました。

しかし、蓋を開けてみると、それは「所得制限有りの一部無償化」でした。今後、完全無償化を目指す市長は公言したものの、完全無償化への道筋は明らかにされていません。

なんや一部無償化って。騙されたみたいや。やっぱり政治家は信用できんし、選挙に行くだけ無駄や。



そんな風に政治を諦める人もいるのではないかと危惧しています。

歯止めがきかない西宮市民の政治離れ(投票率の低下)。益々の市民の政治離れを防ぐ意味でも、18歳以下の医療費「完全」無償化は大きな意味を持つと信じています。

そして、10億円程掛かると言われている完全無償化には当然新たな財源が必要です。

そのためにも、僕はチラシ第一弾から一貫して財政の改善を訴え続けています。

僕が目指す政策を裏面にまとめました

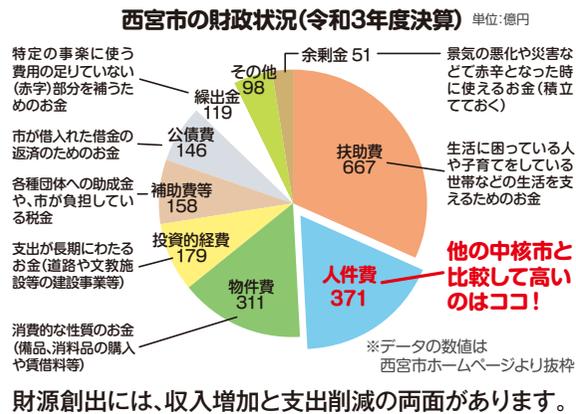
お願いですので、あと2分、本チラシにお付き合いください。ぜひ、一緒に西宮市の未来を考えながらお読みいただけると嬉しいです!

裏面へ

目指す政策 1 多角的に財源の捻出をする

選挙が近づくと、聞こえの良い公約を口にする政治家が現れます。「〇〇サービス向上!」「〇〇無償化!」あるあるですね(笑)

でもそのお金の出どころを考えないといけません。西宮市は長年、財政が悪い状況が続いています。市の財政状況を示す「経常収支比率」。こちらを見ると、**今の西宮市はわずか7%程のお金しか自由に使えません。**

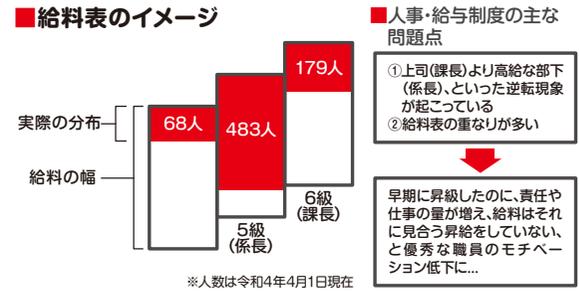


増加の面では**西宮市が持つ資源(観光地、名産品等)のPR強化、子育て支援の強化で、西宮市への観光、転入の増加を訴えます。**そして削減の面について、財政状況に話を戻します。なぜ西宮市がこのような財政状況なのか? 大きな要因の一つは圧倒的に高い人件費です。

現状で、**固定的な支出の中で人件費が占める割合は、西宮市が中核市で最も高くなっています。**

人件費が膨らむ理由は、**優秀な若手が報われない&財政を圧迫しやすい現行の人事・給与制度**です。

現行の課題について、等級毎の給料の幅と実際に貰っている人の分布イメージを書いてみました。



僕は、前職にて積んだキャリアのうち、「人事部での新人事制度への移行の経験」を活かし、西宮市の人事制度を本来あるべき姿に変えていきます。

目指す政策 2 西宮市政の体質を変える

行政の生命線となる人口維持。西宮市は数多くの魅力ある街であるにも関わらず、近年では人口が減少傾向です。



選ばれない街となりつつある西宮市。この問題の一つに待機児童問題があると考えます。市が発表している「保育所等へ入所できなかった方」は令和に入ってからほぼ横ばいで、今でも約900人いる状況です。共働きが主流となっているこの時代に、希望通りに保育施設に子供を預けられない街に住む選択をする人は限られてくるでしょう。

極めて早急な解消が求められるこの待機児童問題について、**「どのように、いつまでに解消するのか?」が明確にされていないのが今の西宮市です。**

政治活動をしている中で、市民の皆さまからの声で気付かせてもらったことがあります。それは**「待機児童数は問題の“表面化した部分”である**」ということです。

一口に待機児童と言っても、その原因は家庭によって異なります。(例えば、次のような感じ↓)

「公立と私立の幼稚園の不公平感が納得いかない」
「特区小規模保育事業所に入所しても、卒園後の幼稚園の立地では物理的に預けられない」
「送迎バス利用なら預けられる施設があるが、長時間の移動が不安。送迎バスに関わる事件も心配」

なぜ待機児童がこれだけいるのか、**その裏にある問題をまずは洗い出すこと、それが問題解決の出発点**になるはず。

「待機児童が〇〇(エリア)にこれだけいるなら、保育施設を〇〇に△△個 設ければ良い」という**マクロ的な話ではなく、市民のリアルな声から解決策を練っていくべき**です。

市民の目線から問題を捉える、そしてその問題を「どのよう、いつまでに解消するのか?」を明確にする。そのような市政運営に変えるべく、**制約の無い無所属の立場×会社員の経験**を活かしていきます。

目指す政策 3 子育て支援を拡充する(教育費用の平準化)

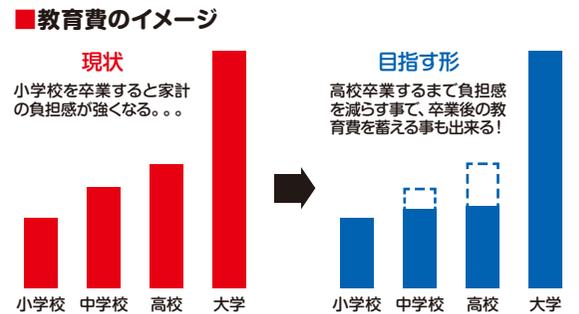
子育て支援は全国的にも関心度が高くなってきたものの、一時的な支援が目立ち、**子育て当事者の目線で支援がされているとは言い難い状態**です。

子育て世帯を悩ませる要素は大きく2つ
①経済的負担 ②精神的負担があると考えます。

①経済的負担軽減のため、**「18歳以下医療費(完全)無償化」「中学校の給食費無償化」**を目指します!

・18歳以下医療費無償化 → 本チラシ表面に記載しています

・中学校の給食費無償化 → 公立学校の教育費は小学校(約32万円/年)から中学校(約48万円/年)※に掛けて一回り負担が大きくなります(※文部科学省 統計情報より引用)。小学校も含めた給食費無償化が理想ですが、今の財政では一気に小・中を無償化することは厳しいです。まずは、中学校の給食費無償化とすることで、**子供が大きくなるに連れて膨らむ教育費の増加を緩やかにする。**将来の子育てに安心できる人生設計を市がサポートする、そんな西宮市を実現します。



②精神的負担軽減のため、**「子供と親と一緒に楽しめる場所づくり」**を目指します!

共働きが主流になり、**「仕事&子育ての負担が従来より増えた」**とされています。核家族が増え、気軽に子供を誰かに預けることも難しくなりました。そんな時代こそ、息抜きの機会を地域一体で創ることが大事だと考えます。例えば、BBQ施設や体育館に子供の一時預かり施設を併設する、という案なら既存の資源を活かして実現可能ではないでしょうか。

僕は子育て当事者の視点から、親子で楽しむ場所を創り、子育て支援を拡充します!

メッセージ

平日の毎朝、西宮市内の各駅でピラを配ったり、夕暮れまで各戸にポストに貼らせていただいています。その中で、ありがたいことに応援して下さる方が日に日に増してきました。**応援のお気持ちをいただく度に「その気持ちは絶対に裏切れない」と西宮市政への気持ちが強くなっていっていると感じています。**昨年、他市の地方選挙でピラ配りを手伝った際に、あるお父さんから「旧統一教会の件で、もう日本の政治は諦めた。政治家は信用できない。」という声をいただき、言葉にできない感情を覚えました。**「西宮、そして日本も捨てたもんじゃないな」**いつの日か、あのお父さんがそう言ってくれるほどに、この西宮のために人生を掛けて活動します。

松本 たかゆき

プロフィール

▶1993年(平成5年)10月生まれ。 ▶2016年積水ハウス(株)入社。営業職や人事(新卒採用、社員育成、社内規則改訂)を担当。
▶現職議員との出会いをきっかけに学生時代からの想いが再燃。会社員を辞めて市政への挑戦を決意。
▶特技はバスケットボール
中学→西宮市優秀選手賞
高校→兵庫県優勝(インターハイ、ウィンターカップ出場)
大学→関西準優勝、西日本3位 (インカレ出場)



連絡先

TEL 050-6872-4276

MAIL mt.shisei@gmail.com

Instagram tkyk_matsumoto

Twitter tkyk_matsumoto

Blog

HP

松本たかゆき



Instagram



Twitter



Blog

最後までお読みいただきありがとうございます。ご意見やご感想があればぜひお寄せください。また、駅でのチラシ配りやポストに貼る等、ご協力いただける方がいらっしゃれば幸いです。

※政党や宗教学者との政策協定、支援等は一切ございません。

発行 故郷にしのみや 西宮市下大市東町35-3-203